

**長距離フェリーのトラック輸送2年連続減！**

～ 長距離フェリー航路の輸送実績(平成20年度 上半期 4月～9月) ～

平成20年度上半期(4月～9月)の九州と阪神、京浜を結ぶ長距離フェリー航路の輸送実績の概要は次のとおりです。

＜問い合わせ先＞

九州運輸局 海事振興部 旅客課

担当：川上・樋口

Tel 092-472-3155

**九州発着の長距離フェリー航路【6社8航路】**

今期の輸送実績については、平成19年度同期と比較し、旅客、バス、乗用車、トラックと全てにおいて前年度を大幅に下回りました。

原因としては、航路の廃止及び便数の減少(注1、2)もありますが、各社が導入しているバンカーサーチャージ(燃料油価格調整金)を上乗せした運賃が、他の輸送機関や高速道路のETC割引料金と比べ割高感があるため、一般客、乗用車は他の輸送機関や割引が拡大された高速道路へシフトしたのではないかと考えられます。

また、昨年5年ぶりに対前年比で減少に転じた長距離フェリーの生命線ともいえるトラック輸送も、一部を除き高速道路へ流れているものと思われ、2年連続で前年割れとなり、各社の経営に影を落とす結果となっています。

しかしながら、最近では原油価格が下がっており、バンカーサーチャージを来年1月より値下げする事業者が多くあることから、トラック、乗用車等が戻ってくることが期待されるようです。

注1) 大分～横須賀航路(シャトルハイウェイライン 19年10月8日廃止)

注2) 中九州～阪神区間(20年1月16日から7隻8便体制 → 6隻6便体制)

種 別	輸 送 量	前年度比
トラック	39万6千台	9.2%減
乗用車	24万5千台	14.0%減
バス	2千台	18.4%減
旅 客	99万9千人	12.9%減

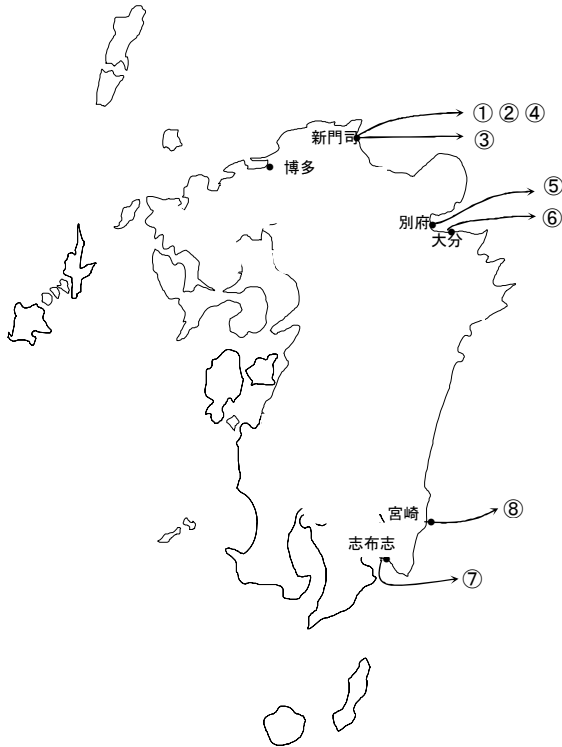
## 平成20年度 上半期 長距離フェリー航路輸送実績

	旅客 (人)	対前年 度比%	バス (台)	対前年 度比%	乗用車 (台)	対前年 度比%	トラック (台)	対前年 度比%	総自動車 (台)	対前年 度比%
北九州～阪神	442,712.0	94.3%	1,379.0	77.3%	110,978.0	93.7%	193,078.0	99.4%	250,635.5	97.9%
中九州～阪神	( 114,953.0 )	( 54.3% )	( 108.0 )	( 47.0% )	( 19,932.0 )	( 52.7% )	( 28,965.0 )	( 41.3% )	( 39,093.0 )	( 43.7% )
	357,378.0	79.6%	546.0	82.9%	60,961.0	78.4%	94,242.0	83.1%	125,541.5	81.9%
南九州～阪神	176,694.0	94.4%	262.0	102.3%	50,577.0	88.6%	72,965.0	97.4%	98,646.5	95.0%
小 計	976,784.0	88.4%	2,187.0	81.0%	222,516.0	87.9%	360,285.0	94.2%	474,823.5	92.5%
北九州～京浜	( 6,964.0 )	( 77.1% )	( 134.0 )	( 67.0% )	( 11,652.0 )	( 70.5% )	( 24,359.0 )	( 89.7% )	( 30,386.0 )	( 85.1% )
	22,117.0	83.8%	204.0	87.9%	22,796.0	78.0%	36,071.0	95.5%	47,775.0	90.6%
合 計	( 741,323.0 )	( 83.1% )	( 1,883.0 )	( 76.2% )	( 193,139.0 )	( 83.1% )	( 319,367.0 )	( 83.5% )	( 418,761.0 )	( 83.3% )
	998,901.0	87.1%	2,391.0	81.6%	245,312.0	86.0%	396,356.0	90.8%	522,598.5	89.6%

- (注) 1. 「旅客」は、小人1名を0.5名として計上した。  
 2. 「総自動車(8トントラック換算)」は、バス1台を1.5台、乗用車1台を0.5台、トラック1台を1台として計上した。  
 3. ( )内の数字は、中間寄港地を除く、起終点間の輸送実績。

# 長距離フェリー航路一覧表 (九州に発着するもの)

平成20年4月1日現在



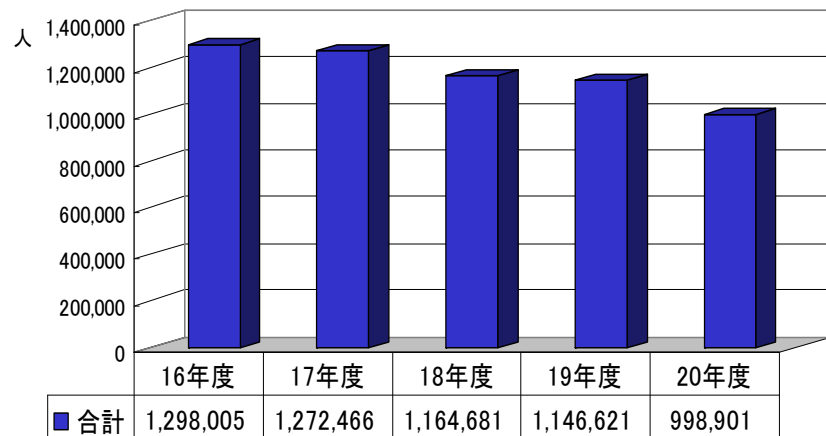
事業者名	航路名	航路距離 km	所要時間 h m	航海数 (往復)	隻数	総トン数	旅客定員	航送能力	
								乗用車	トラック
①● 阪九フェリー(株)	新門司～神戸	454.0	12:20	1/日 (月～金)	6	87,058	4,744	650	1,256
②● "	新門司～泉大津	458.0	12:30	2/日 (月～金)	6				
				1.5/日 (土・日)					
③● オーシャントランス(株)	北九州～徳島～東京	1,163.0	34:30 (北九州～東京) 34:50 (東京～北九州)	1/日	4	45,273	1,098	378	688
④○ (株)名門大洋フェリー	大阪～門司	458.0	12:30 (大阪～門司) 12:20 (門司～大阪)	2/日	4	38,417	3,310	400	680
⑤○ 関西汽船(株)	大阪～別府	456.0	11:50 (大阪～別府) 11:40 (別府～大阪)	2/日	3	28,201	2,496	213	379
⑥● (株)ダイヤモンドフェリー	大分～大阪	443.0	16:40 (大分～大阪) 15:35 (大阪～大分)	2/日	3	32,065	2,438	163	429
⑦● "	志布志～大阪	583.0	13:45 (志布志～大阪) 15:00 (大阪～志布志)	1/日	2	24,833	1,564	280	350
⑧● 宮崎カーフェリー(株)	宮崎～大阪	504.0	13:20 (月～土) 14:20 (日)	1/日	2	23,864	1,380	170	370
合計	6社	8航路			30	279,711	17,030	2,254	4,152

● 九州管内	4社	6航路	23隻	213,093 トン
○ 他局管内	2社	2航路	7隻	66,618 トン
計	6社	8航路	30隻	279,711 トン

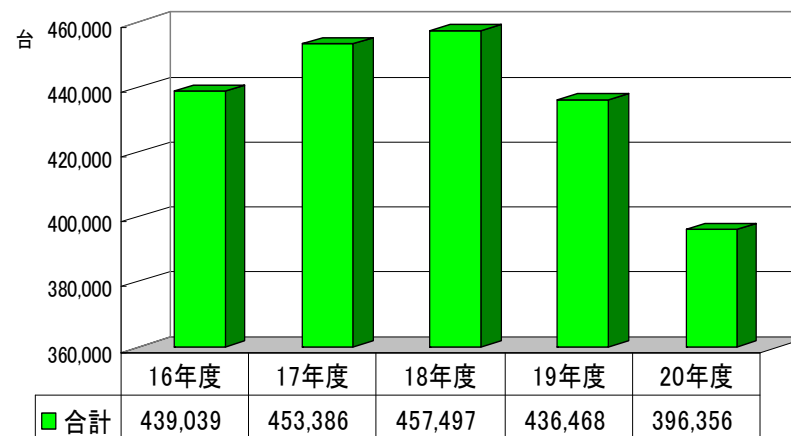
(注) 1. 九州運輸局調べによる。

2. 長距離フェリーとは、片道の航路距離が300km以上で、陸上輸送のバイパス的な旅客フェリーをいい、本土～奄美大島～沖縄航路を除いたものである。
3. 所要時間については、上下便の最短所要時間を計上。
4. 航送能力の乗用車については、乗用自動車の航送のみに係る自動車積載面積を10.4㎡で除した数を、トラックについては、自動車積載面積（乗用自動車の航送のみに係る自動車積載面積を除く）を26.4㎡で除して得た数を台数として計上。

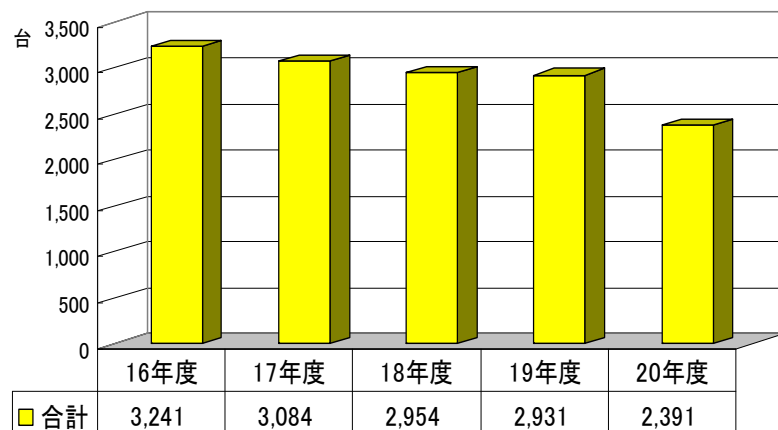
長距離フェリー 旅客輸送実績の推移



長距離フェリー トラック輸送実績の推移



長距離フェリー バス輸送実績の推移



長距離フェリー 乗用車輸送実績の推移

